

6/13

第5回 名古屋大学の卓越・先端・次世代研究シンポジウムを開催

■高等研究院



久木田水生情報学研究所准教授による研究発表

名古屋大学の卓越・先端・次世代研究シンポジウム「挑戦：人文学・社会科学の最前線」をアジア法交流館で開催しました。

当院は、2016年度より、本学の最先端研究を紹介するシンポジウムを主催しています。5回目となる今回は、人文・社会系分野でリーダーシップを発揮し、各領域の第一線で活躍中、あるいは、今後、活躍が期待される各部署のエースを招きました。

シンポジウムでは、個別の研究発表とともに、今後、名古屋大学の人文・社会系の研究をさらに発展させていくためには何が必要なのか、どのようなビジョンを持って将来に進むべきかといった点について、登壇した研究者が討論したほか、聴講者や高橋理事、松尾総長とも熱く意見を交わし、盛況のうちに閉会しました。

6/14

第8回減災連携研究センターシンポジウムを開催

■減災連携研究センター



パネリストによるディスカッション

第8回シンポジウム「減災館5年－平成の災害教訓を振り返り令和の減災社会実現を目指す－」を減災館で開催しました。

シンポジウム前半では、兵庫県人と防災未来センター、静岡県、防災専門図書館及び当センターの関係者より、それまで行われた防災啓発に関する活動や、課題等について話題提供がありました。後半のパネルディスカッションでは、時事通信社の中川和之氏が

コーディネータを務め、「減災社会の実現に向けた取り組み」と題した議論が展開されました。

これまでの組織間の連携活動を振り返りながら、今後の各組織での活動や、減災館が果たすべき役割への期待について活発な意見交換が行われ、約150人の聴衆が真剣に聞き入る様子が見受けられました。

6/14

ブレイクタイム

「岐阜大学創立70周年記念事業 第9回教養教育講演会 詩の朗読会 Poetry Reading」を遠隔講義システムにより、双方向受信で実施

5月31日(金)、岐阜大学創立70周年記念事業の一環で、同大学教育推進・学生支援機構が主催する詩人のニール・ホール氏による第9回教養教育講演会「詩の朗読会 Poetry Reading」を開催しました。

今回は、国立大学法人東海国立大学機構設置に向けて昨年度導入した遠隔講義システムを利用し、双方向受信により全学教育棟講義室で初めて行う講演会で、終了後の質疑応答では、両会場から質問が出るなど一体感のあるものとなりました。また、ストリーミング配信も行い、会場

に足を運ぶことなく、自身のパソコンで視聴する職員もいました。なお、本システムは、配信とともに自動録画し、いつでも視聴可能な機能も有しており、教材

開発にも活用予定です。

今後、両大学で実施する講演会、会議等がより活発にかつ双方向で行われることが期待されます。



ストリーミングの画面（左側：岐阜大学、右側：名古屋大学）